



道徳通信

2018年11月30日(金)

NO. 5

珠洲市立緑丘中学校

大きな行事がいくつもあった11月が終わり、2018年も残すところあと1か月となりました。各行事におきまして、多くの保護者の方々に、ご来校いただき、ありがとうございました。

本号では、その行事の一つである「人と地域を生かした道徳教育講座」の様子を紹介します。

◎人と地域を生かした道徳教育講座

本校は、石川県教育委員会・珠洲市教育委員会の指定を受け、道徳教育推進校として、これまで研究を進めてまいりました。来年度からの道徳の教科化に向け、授業の工夫や、新しく導入される評価の工夫について、これまで取り組んできたことを、公開授業と全体会・分科会で発表しました。

各公開授業の様子と、全体会・分科会の様子を紹介いたします。

◇1年1組研究授業

『海とともに生きる』 D 自然愛護

【生徒の感想】

- ・この海は、珠洲に生まれた僕たちが守っていくものだと思うし、事故の時に人の力で作業していなかったら、今、どんな状態だったかわかりません。だから、感謝したいし、すごいことだなと思いました。
- ・人が生活するために、海は、絶対いるので、大切にしたいと思った。そのために、海にゴミを捨てるようなことはしないようにしたい。
- ・今、きれいな海があるのは、昔にこんな大変なことがあったからだと始めて知った。このきれいな海を、これからもずっと保っていききたい。



◇1年2組研究授業

『あなたはすごい力で生まれてきた』 D 生命の尊さ

【生徒の感想】

- ・感謝してもきれないくらい大切にしているのだから、自分の命を大切にしたいと思う。
- ・自分がいま生きていることへの感謝を忘れず生きていきたい。自分の大事な応援団長(母)をこれからも大事にしていきたいと思った。
- ・自分がどうやって生まれてきたかわかったし、親の気持ちも分かったので、大事にしていきたいです。



◇2年1組研究授業

『受け継がれた夜』 C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度

【生徒の感想】

- ・自分の地域の伝統をこれからも受け継いでいけるようにしたい。
- ・自分は、将来地元に残って頑張りたいと思う。祭りが早くしたくなってきた。

- ・伝統は出る人や見る人や保存会の人など、たくさんの人の「続けたい」という思いで続いていると分かった。伝統に触られる良さが改めて感じられた。

◇2年2組研究授業

『国境が鍛える共生の思考』 C 国際理解, 国際協力

【生徒の感想】

- ・世界には、こういう人たちがいることを忘れてはいけないことだと思った。人の気持ちをちゃんと考える。
- ・支援は大切なことだけど、問題点はたくさんあるなと思いました。自分にできることは人の気持ちを大切にしていくことだと思いました。
- ・自分にできることは何だろう。現地へ行って冷静にいられるのかなと思った。
- ・難民の人たちが望んでいてもいなくても自分のできる募金などはしていきたいと思う。

◇3年1組研究授業

『ドナーカード』 D 生命の尊さ

【生徒の感想】

- ・臓器を提供するというのは、本当に大きな決断だと思った。人を助けたいと思うけれど、命はやっぱり自分のもので、簡単に考えられるものではないと思った。
- ・命とは、人を助けるという素晴らしいものだけど、自分の一番の宝だから、簡単に人に渡せるものじゃないと思った。
- ・もっともっと命を大切に、自分だけじゃなく周りの人の命も大切にしなければならない。



◇3年2組研究授業

『招集通知 - あなたが裁判員になるとき - 』 C 社会参画・公共の精神

【生徒の感想】

- ・裁判員制度はすごく大変だし、面倒くさいことだと思うけど、国民が少しでも関わっていくことが大切だと分かった。自分にも機会があったらやってみたいと思えた。
- ・社会参画は大切だなあと思った。しっかりと社会の一員として考えていきたい。
- ・社会参画は、裁判だったら「有罪か無罪か」など、自分で決めないとダメだから、大切だなと思ったけど、正直面倒くさいとも思った。

◇全体会・分科会

全体会では、本校がこれまでどのように研究に取り組んできたかを説明し、奥能登教育事務所からのご講評をいただきました。分科会では、「家庭・地域社会との連携」「考え議論する道徳」「道徳科の評価の工夫」の3分科会に分かれ、それぞれのテーマについて本校の取組を説明した後、グループ討議で、参加された先生方の各学校での取組などを交流しました。いただいたご意見を参考に、道徳教育の取組を進めていきたいと思います。

